

華創

はなそう

2012
JULY
No.592

7

出発進行！
僕は運転士

万一の災害に備えて／4
春の叙勲・褒章／5
真夏の夜、祝園駅前で乾杯！／
6 せいか祭り2012開催決
定・出演者募集／7 夏だ！
プールに行こう／18 本誌リ
ニューアル／20 せいか写真日
記／26

高齢者や障害のある方への福祉活動などを通し、町民同士の交流を図る「平成24年度精華町ふれあいまつり」が5月20日(日)、かしのき苑で開催されました。さまざまな催しが行われたなか「精華町鉄道ジオラマ同好会」は、巨大なジオラマを展示。本物そっくりの鉄道模型を、子どもたちは大喜びで操縦していました。

「福祉の輪」をひろげよう

平成24年度精華町ふれあいまつり

精華町ふれあいまつりは、町や社会福祉協議会をはじめ、地域でさまざまなボランティア活動などを展開している各種団体が集まって実行委員会を構成し、毎年春に開催しているイベントです。

老若男女を問わず、まちに暮らす人々が共に楽しみ交流を図るため、いろいろな発表や展示、アトラクションなどが盛りだくさんで、かしのき苑は大盛況となりました。

楽しい一日を通して、「まちにはこんなに多くの人が、いろいろなボランティアに参加しているんだなあ」と気づいたり、「自分も何かできることがあるのかな」と思った方もいたのでは。それは、地域のなかでみんなが互いに「ふれあい」助け合う「福祉の輪」が、またひとつ広がった瞬間でもあります。



出展作品はどれも力作ばかり



外ではいろいろな出店が



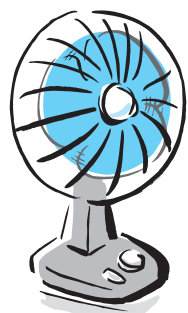
ホールではサークルの活動発表

福祉施設に 扇風機寄贈

精華町ボランティア連絡協議会は、同会のチャリティー喫茶の売り上げ7万500円により、町内の福祉施設などへ扇風機20台を寄贈しました。

寄贈先は次の通りです。

- ・精華町社会福祉協議会（5台）
- ・同ボランティアセンター（2台）
- ・相楽福祉会相楽作業所（5台）
- ・高齢者総合福祉施設神の園（5台）
- ・精華町地域活動センター「心」（1台）
- ・オープンセサミ（1台）
- ・地域福祉センターかしのき苑（1台）



まちの福祉のパイオニア

精華町社会福祉功労者表彰

福祉分野のボランティアや、そうした活動への支援に長きにわたり取り組んだ功績が、特に顕著であると認められる個人や団体に対する初の表彰式が、ふれあいまつり会場で執り行われました。

今回は25年から30年にわたって地道な活動を続けてこられた、次の4人と1団体が受賞されました。（「」内は受賞者からのコメント）

廣瀬明彦さん（南稲八妻地区）

町内で初めて障害者施設を創設。障害がある方々に安心して暮らせるまちづくりに尽力。

「障害のある方の暮らしが日々進んできたのも、いろいろな方々の支えによるものと再認識し、今後も共に歩んでいきたいです」

柴田美智子さん（中地区）

高齢者福祉施設「神の園」で民謡を通して生きがいづくり、介護予防などの慈善活動を推進。

「三味線など自分のやってきたことがお役に立ちうれしいです」

田中智美さん（桜が丘三丁目）

各種活動への参加の一方、精華町ボランティア連絡協議会会長を務める。「必要とされてきたから継続できまし



左から、柴田さん、周防さん、宮部さん、田中さん、木村町長（廣瀬さんは当日欠席）

○問い合わせ
福祉課 社会福祉係（☎ 95-1904）